

大津まちなか食と灯りの祭2012関連記事

8.14(京都新聞)

秋の「まちなか食と灯りの祭」
17日から手作り教室

「魚灯り」で大津駅前彩ろう



琵琶湖の魚をイメージした「魚灯り」。教室で手作りし、9月に大津駅前を彩る(大津市浜大津・旧大津公会堂)

湖都の玄関口といえる丁良大津駅前を、琵琶湖の魚をイメージした数多くの手作り明かり「魚灯り」で彩ろう。今秋開かれる「大津まちなか食と灯りの祭」の実行委員会(福井美知子委員長)が、こんな初企画を打ち出した。17日から魚灯りの手作り教室を開く予定で、興味のある男女を募っている。

同祭は9月15日〜10月14日に大津市中心部で多彩な催しを展開する。まちづくりの市民グループなどによる実行委が主催。9月20日と21日は1階の飲食店約50軒が「大津パ

魚灯りは、「県庁所在地にしては活気が乏しい」ともゆされる大津駅前でも「まちなかに入れば面白い店がたくさんある」とのメッセージを多くの灯りに託して発信しよう。企画。バル参加店とほぼ同じ約50個を9月15日〜10月14日に駅前広場に飾り、バル当日は各店の店頭に移して「客を誘う灯り」にする。

針金で全長約50センチ、高さ約30センチの形を作った上に、色とりどりの和紙を張って1個ずつ個性豊かに仕上げる。実行委は「和気あいあいと創作を楽しみながら、まちづくりの灯りをともしてもらう活動。初心者でも気軽に参加を」と呼び掛ける。

教室は17、28、29日と9月5日の計4日間。照明作家の橋田裕司さんを講師に大津市浜大津1丁目の旧大津公会堂で、参加無料。各日も午前10時〜午後9時の好きな時間に参加可。制作に約15時間かかるため、1日以上参加できる人が対象。希望者は16日まで実行委077-528(5280)に実行委077(5280)2501へ。(三好吉彦)

チエキポン10月号

Festival

ほのかな灯りに包まれる大津恒例の祭


華やかにライトアップされる大津の町並み。9/29には、[なぎさ公園おまつり広場]で屋台などが並ぶ「なぎさおまつり市」や、[大津百町館]で一夜限りの居酒屋がオープン。期間中は楽しいイベントがたくさん。詳しくはWEBをチェック。

大津まちなか食と灯りの祭実行委員会
☎077-528-2501 ☎~10/14 大津市中心市街地
☎無料 machidukuri-otsu.jp/



9.19(関西ウォーカー)

道賀●なぎさ公園おまつり広場ほか
☎077-528-2501
~10/14日
大津まちなか食と灯りの祭
2012



「灯」「食」「音」をテーマにしたイベント。なぎさ公園おまつり広場での湖辺のイルミネーションや大津百町まちなかバル(9/20夜・22夜)など、期間中は多彩な催しを実施。☎イベントにより異なる☎入場無料

お手頃値段で飲み歩き

駅前37店 特別メニュー

天津 大津市の中心市街地の飲食店で気軽に飲み歩きを楽しんでもらうイベント「大津百町まちなかバル」が二十、二十一日に初めて開催される。JR大津駅周辺にある居酒屋や飲食店二十七店舗で、ドリンク一杯と料理一品の特別セットメニューが手頃な値段で提供される。

(滝田健司)

中心市街地活性化のした企画。参加各店は、キーとワイン、だし巻ためイベントを集中的開催日限定で、料理一巻卵とハイボールといに開く大津まちなか食品とドリンク一杯を組ったセットメニューを、と灯りの祭りの一環で、み合わせた「バルメニュー」を全店共通のチケットを軽食を兼ねた社交場に、ユーを提供する。(前売り六百円、当日七もなっているスペイン、刺し身の盛り合わせ、百円で飲食できる。両の「バル」をイメージと純米酒、近江牛ステーキとも午後五時から各

20、22日 共通チケット利用

店の閉店時刻まで、参加店には目印として琵琶湖の魚をイメージしたあんどんを店先に飾る。

前売り券は、まちづくり大津(旧大津公会堂二階)、びわ湖大津観光協会(JR大津駅二階)、湖の駅(浜大津アーカス二階)、大津祭典山展示館、各参加店で販売。当日券はJR大津駅や京阪浜大津駅、大津祭典山展示館に売り場を設ける。使い切れなかったチケットも一部参加店では九月中利用できる。

大津中心丸ごと食べ歩き

専用のチケットを使って飲食店を気軽に「第一回大津百町まちなかバル」が9月20、22の両日、大津市で行われる。中心市街地活性化を目的に、飲食店の経営者らでつくる運営委員会が企画、37店が参加する。委員長を務める飲食店運営会社社長の小林玄良さん(51)は「チケットを使って気になる店に入り、お気に入りの店を開拓してもらいたい」と来場を呼びかけている。(高山千香)

「バル」はスペイン語で「料理」の特別メニューと料理一品の特別メニューが楽しめる仕組み。低価格で複数の店を巡ることが楽しめる。まちなかバルは、市街地に集まる飲食店を「バル街」に見立てて飲み歩き、食べ歩きをしてもらうイベントで、北海道函館市、大阪府伊丹市、和歌山市などで行われ、人気を集めている。

来場者はチケットのつづりを購入し、チケット一枚で、各店が提供する飲み物



まちなかバルで提供予定の料理と飲み物の一例(大津市京町の天津魚店で)

来月20、22日 37店参加「バル」

和食、イタリアンなど格安で

客開拓の利点がある。また、特設会場ではなく、飲食店を舞台とするので、実際の街のにぎわい作りにつながることも期待できる。

大津百町まちなかバルには、JR大津駅前から京阪浜大津駅周辺までにある居酒屋やイタリア料理店、そば店など飲食店37軒が参加。5枚つづりのチケット(前売り3000円、当日3500円)が販売され、1枚で飲み物と料理のセットが買える。残ったチケットは30日まで、指定の店で金券として使える。

参加店の一つ、大津市京町の日本料理店「天津魚店」は、20、30代の若い層や女性客に店を知ってもらいたい、と参加を決めた。オーナーの橋本忠司さん(55)は「高級店のイメージを持たれがちだが、予算に応じて使っていたらいい。バルを機会に、若い人も来てもらいたい」といい、当日は野菜の炊き合わせなどイ5品を盛り合わせたメニューを提供することになっている。

チケット販売は27日から。①旧大津公会堂内「まちづくり大津」(大津市浜大津)②JR大津駅構内「びわ湖大津観光協会」(同春日町)③浜大津アーカス内「湖の駅浜大津」(同浜町)④大津祭典山展示館(同中央)と各参加店の他、インターネット(MHPJ/W website/okashibar/)でも購入できる。

問い合わせは運営委員会事務局(077-578-6660)。

大津の夜「飲み食べ歩き」楽しもう



20、22日に37店舗で開催

「バル」とはスペイン語で、朝から営業し夜にはアルコールを出し、一日中楽しめる飲食店。市内の飲食店をバルに見立て、各店舗を飲み食べ歩きながら楽しんでもらう。市内では、8月に「滋賀日経グルメバトル」と「牛肉サミット」が2年目を迎え、いずれも大盛況のうちに終えており、また新たなイベントが加わる。

参加37店舗は、焼き鳥店、立ち飲み店、ビアホール、焼き肉店などさまさま。まず5枚つづりのチケット(前売り券3千円、当日券3500円)を購入。チケット1枚は、各店が用意した料理1品と飲み物1種類と交換できる。

まちなかバルは、北海道函館市や兵庫県伊丹市、奈良市、県内では守山市など各地で行われている。

運営委員会の小林玄良委員長(51)は「県内や近隣府県から大津に来てもらい、まち並みと食事を楽しんでもらえれば」と話している。

開店はおおむね午後5時から。チケットはJR大津駅2階のびわ湖大津観光協会などで、前売り券の販売がスタート。イベント前日の9月19日の午後5時まで売られる。当日券は3500円。運営委員会のホームページからも購入できる。問い合わせは同委員会(077-578-6660)。

大津百町まちなかバルのポスター

街バルで食べ歩き気軽に

各店共通のチケットを使って飲食店を気軽に楽しむ「大津百町まちなかバル」が20、22の両日、大津市中心部で初開催される。和食や中華、イタリアンなど多彩な参加店がお得な特別メニューをそれぞれ用意し、いちげんさんを大歓迎する。主催グループは「大津にも面白い店は数多くある。ぜひ店を開拓して」と力説する。



大津の37飲食店 20、22日初開催

「バル」は、スペイン語で「月15日、10月14日」の一環で街の気軽な酒場の意味。津、同実行委が初開催する。市街地に集まる飲食店をバルに見立て、飲んだり食べたりしながら街歩きを楽しむ「街バル」と呼ばれる催しが日本各地で人気を集めており、大津でも「大津まちなか食と灯りの祭り2012」(9月) 今回はずいぶん大津駅前から京

共通券発売 面白い店開拓して



「大津百町まちなかバル」のボスターや魚灯りを持ち、米道を呼び掛ける運営委員会のメンバーたち(大津市浜大津1丁目)

両日とも午後5時開始。終了は各店の閉店時間に合わせる(最終は翌日午前1時)。各店舗には、琵琶湖の魚をイメージして市民が手作りの「魚灯り」がともされ、客をいさなう。前売り券は、大津駅のびわ湖大津観光協会などで発売中。開催日は限りチケットのばら売しも可。1枚700円。同委員会077(078)6600。(◎好尚誌)

阪大津駅前にかけての沿道が参加。老舗料亭は「季節の八寸」、近江牛専門店「近江牛しぐれ煮」、イタリア料理店は「自家製ピザ」など各店が自慢の味を提供する。大津駅前には「県庁所在地にしては活気が乏しい」ともゆえられることもあるが、準備を進める運営委員会の小林友良委員長(51)は「まちなかに一歩入れば個性的な店が多くある。滋賀日越グルメバトルなど大津港一帯を会場にしたグルメイベントが近年人気だが、バルは、まちなかの店を知っていただく恒例イベントにしたい」と話す。

気軽に食べ歩き

街バル

20、22日・大津37店
来月6日・草津42店



大津市と草津市を結ぶ、琵琶湖の気配を味わう「大津百町まちなかバル」が、20、22の両日、大津市中心部で初開催される。和食や中華、イタリアンなど多彩な参加店がお得な特別メニューをそれぞれ用意し、いちげんさんを大歓迎する。主催グループは「大津にも面白い店は数多くある。ぜひ店を開拓して」と力説する。

各店自慢料理と飲み物用意



「大津 料亭」の「季節の八寸」/ 大津市のバル



「草津」の近江牛刺身



「セントパウルス」のイタリアンピザ



「大津百町まちなかバル」が、20、22の両日、大津市中心部で初開催される。和食や中華、イタリアンなど多彩な参加店がお得な特別メニューをそれぞれ用意し、いちげんさんを大歓迎する。主催グループは「大津にも面白い店は数多くある。ぜひ店を開拓して」と力説する。

9.15(滋賀リビング新聞)

9月15日(土)開幕。楽しいイベントいっぱい!

「大津まちなか食と灯りの祭2012」

大津まちなか食と灯りの祭実行委員会

大津の歴史をしのぐ真の文化の灯り。あかり。まきーマにしろ。大津の歴史をしのぐ真の文化の灯り。あかり。まきーマにしろ。大津の歴史をしのぐ真の文化の灯り。あかり。まきーマにしろ。

大津の歴史をしのぐ真の文化の灯り。あかり。まきーマにしろ。大津の歴史をしのぐ真の文化の灯り。あかり。まきーマにしろ。大津の歴史をしのぐ真の文化の灯り。あかり。まきーマにしろ。

★第1回大津百町まちなかバル
★9月29日(土)・30日(日)午後5時～
★大津駅前～滋賀大津駅間の参加店舗で

まきーマの歴史をしのぐ真の文化の灯り。あかり。まきーマにしろ。大津の歴史をしのぐ真の文化の灯り。あかり。まきーマにしろ。大津の歴史をしのぐ真の文化の灯り。あかり。まきーマにしろ。

灯 心なごむ、灯りのイベント

大津まちなかイルミネーション
9月15日(土)～10月14日(日)
15時～午後10時

なぎさのテラスdeろうそく灯り
9月30日(日)午後6時～10時
なぎさ公園打出の森・なぎさのテラス

音 気分そう快! 音のイベント

なぎさコンサート
9月29日(土) 正午～午後4時
なぎさ公園おまつり広場

なぎさおまつり市
9月29日(土) 午前11時～午後2時
なぎさ公園おまつり広場

9.22(滋賀リビング新聞)

「大津まちなか食と灯りの祭2012」開催中

9月29日(土)は豪華屋台、コンサート、おまつり市などがにぎやかに!
9月30日(日)はコンサートと灯りのコラボなぎさのテラスdeろうそく灯り。

大津まちなか食と灯りの祭実行委員会
<http://www.machidukuri-otsu.jp/>

9月15日(土)から始まった「大津まちなか食と灯り(あか)りの祭2012」。街なかや湖上、湖岸がイルミネーションで彩られ、大津の中心市街地(JR大津駅前)旧大津公会堂くなぎさ公園周辺で表のような催しが続々と開かれる秋恒例ロングランイベントです。キーワードは「灯」「食」「音」。見て聴いて食べて遊んで五感で満喫できますよ。10月14日(日)まで。中でも9月29日(土)は30日(日)には「なぎさの

ホテルシエフの味を気軽に食べられる「豪華長卓宴」は毎年大人気!

【9月29日(土)】
◇おまつり広場で
●豪華長卓宴…11:00～14:00(売り切れ次第終了。早めにどうぞ)
●なぎさコンサート…12:00～16:00
●なぎさおまつり市…11:00～16:00。第2回滋賀B級グルメバトルの人気店も再登場!
◇大津百町館で
●宵々醸亭(よいよいかもてい)…17:00～21:00。商店街の「うまいもん」と地酒をそろえた一夜限りの居酒屋がオープン

【9月30日(日)】
◇なぎさ公園打出の森・なぎさのテラスで
●なぎさのテラスdeろうそく灯り…18:00～22:00。湖岸のカフェ・なぎさのテラス前帯にろうそくの灯りがともりロマンチックなムードに。コンサートも開催(無料)。光と音で中秋の名月の夜を盛り上げます